

第 11 次厚木市総合計画長期ビジョン素案に対する 「オープンハウス」実施報告書

目的	第 11 次厚木市総合計画の策定に向け、普段市政に参加する機会が少なかった市民に対してオープンハウスを開催し、長期ビジョン素案に対する市民の意見等を聴取する。
開催日時	令和 7 年 5 月 24 日（土）午前 10 時から午後 3 時まで
開催場所	ぼうさいの丘公園センター施設 講義室 AB
対象	ぼうさいの丘公園 来場者
参加者	15 組 19 名
内容	パネルを用いて職員が説明するとともに、意見記入シートを基に参加者から意見を伺いました。主な御意見は次のとおりです。
【問 1】次のようなまちを実現するためには、どのような取組が必要だと思いますか。	
1. 誰もが訪れたい、住みたい、住み続けたいと思える魅力にあふれるまち	
・ 大型ショッピングモールなどの商業施設があると人が集まると思う。	
・ 安心、安全に暮らすための防犯対策の取組が必要。	
・ 道路の交通混雑緩和や利便性の高い公共交通機能の充実などにより、快適な移動ができる環境が必要。	
・ 地域に根差したイベント等を充実させると良い。	
・ 市民が憩いの時間を過ごせるような自然環境や公園が充実すると良い。	
など	

2. こどもたちが自分らしく成長し、若者が安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるまち

- ・こどもの保護者同士が、交流や情報交換を通してつながることができる環境を充実させるべき。
- ・こどもの未来が開けるような学校教育が必要。これまでの教育にはないような体験型の教育などを検討してほしい。
- ・こどもが自然と触れ合える機会や場所の充実が必要。
- ・若者が集まるように、市内に大学を誘致する取組を推進するべき。
- ・ひとり親へのサポートを充実させてほしい。

など

3. 多くの企業が立地し、働く場所、働きやすい環境が充実したまち

- ・従業員の通勤や物流の効率化のため、交通利便性を向上させる取組が必要。
- ・従業員向けの託児所等を充実させると良い。
- ・企業誘致は重要だが、基盤整備により自然が減少しないようにバランスを考えて取組を進めてほしい。

など

【問2】その他、本市のまちづくりについて御提案等がございましたら、御記入ください。

- ・市外に住んでいる人でも利用しやすいような公共施設やサービスが充実すると良い。
- ・市民が食料不足の心配なく暮らせるために、市内産の農作物が安定的に供給されるよう、農業振興の施策に力を入れてほしい。
- ・こどもや若者、子育て世代など、これからのまちの発展を担う世代への施策に力を入れてほしい。
- ・まちなかに花が植えられていたり、こどもが通りすがりに挨拶してくれたり、心地良いまちの環境が充実しているので、今後も維持してほしい。
- ・地元の企業と連携しながらまちづくりを進めるべき。
- ・スポーツに関する取組は、本市のみで実施すると財源も規模も限られるため、近隣市町村と連携して取り組むべき。
- ・かなちゃん手形は継続してほしい。

など

【当日の様子】

